

「英國から見た伯國の政局」

打倒陣營 固める一大政党

「ザ・エコノミスト」誌 大統領選挙を論評

【ロンドン廿九日 U.P.】週刊雑誌「ザ・エコノミスト」はブックルで来る十月舉行される大統領選挙とヴァルガス議員富の可能性に關して長文の論説を掲載した。ヴァルガスは彼自身が個人的権力によって跡を付けた代議制下に掲げるものであつて、ブトフスキ雷の社會主義主義とエズリアルド・ゴメスの合衆民主團結が「アルガスの立候補を断念さざる運動を開始し相互に會てない程不和となつてゐる。何れにしろ来るべき危機の大統領は選舉の専門家達より「死活の三角形」と呼ばれているサンバタロ、ミナス・ジエライス、オーリア・グランガスの地盤へ割らうとしている。ところの様に来るべ一月伯國總選舉を諭されたるサンバタロ州は、最も強力にして最もよく統制されたるブフジルの政治的手先によつて支持されていることが擧げられる。

會合でその点言及し、農村に必要欠くことの出来ない各種の品物を公定價にすべしと提案したが、これは農村にとり比較的の重要な問題であると認め、税價委員會では慎重に討議を加えて上公定價實施に賛意を表して、公定價にする必要ある農村用品というものは、次の通り

殺蟻剤、蟻山を退治する機械、エンシナーダー、マッシュキードリーフオライ等の鉄製道具、一般の殺虫剤。アラーマ等々トフトール、カルビアイラ、グリセリン等のジープ及びブネ

伯國の聯邦下院議員の各州別議員數は次の通りで、聖州が最も多く四十名、次が二十九名、セイロス支拂つたが

「ブエノスエセナ」一万六千房を満載した「リオ・オレジヨン」「ロイダバナマ」兩船のベナチは去る七七〇日に亞國通商促進協会に引渡されたが、この仲介を請算するに際し亞國政府は平均一房につき廿五ドルセイロス支拂つたが

ソブリンニ氏はこの取引はウーズ・ボルギ代議士のよき盛力のお蔭で、聖州連邦の生産者に最大の勝利を意味するものだと語った

亞國政府に於ける高價賞揚されるボルギ氏の努力

伯國の聯邦代議士數 聖州からは四十名

農村必需品を 近く公定價に

**州物價委員が提出
必要
物を
シセラード、運送及貯
の令規、パンパンチ、**

メーリーソン及びアーメン、アルバート、電線、トランク、スフォン、マドール、電気取扱機械、カーノ、ガルダ、ニードル、水電設備用の器具、機械、附屬品、鹽、紗布、必要な製品、魚類、カルボン、ニーム。

「出た！ 弊社の新計畫

北パナラの大寶庫開放

一
他社と異なつた力金のもとに樹てられた「第一銀行」にな
る。それは吾等將來を背負ふ第二一世のために

一、會社も社員も將來入植される皆様と苦樂を共にせよ

（初年度十万本頒付す）

一、各グレバ毎に市街地

即時賣却準備すみ

政府認可番号測量済のみ
三五五七三 二五五七一 八四五七
二八〇一 二七二〇 二七〇一

一〇六三七 / 一〇六三六 ○六三九

地代完納の上は所有権移動を行ふ

次年田主権と同様に二割の利息を支給するが、明治三十一年度は、第二年度二割（但し極めて時価に對しては第三年度二割）年一割の利息をふす。

◆地
金錢支拂は本社事務所以外は認めず
勢 標高五百米から五百五十米位
起伏少なく地味肥よくのコーヒー地

旱害霜害なく万作に無らず
オリンニヨス、カンバラ、アバレー
カンピーナスと同緯度

△交 通 バラナバイより約六十キロの地點
營會社のオユバス直通
ロンドローナ、アブカラナ及マリア

～から建研案内致します

一、珈琲園四ヶ年契約
一、捕鯨農漁歩合者
（）募集家族三十家族

右角秀皇の方に本筋を提出下さい。

サンタ・

100

クルース土地會社

■中、マリウシ・
フエルナンデス、共

（五）近頃四年間の
（一）株主登記簿
（二）株主登記簿
（三）株主登記簿
（四）株主登記簿
（五）株主登記簿
（六）株主登記簿
（七）株主登記簿
（八）株主登記簿
（九）株主登記簿
（十）株主登記簿
（十一）株主登記簿
（十二）株主登記簿
（十三）株主登記簿
（十四）株主登記簿
（十五）株主登記簿
（十六）株主登記簿
（十七）株主登記簿
（十八）株主登記簿
（十九）株主登記簿
（二十）株主登記簿
（二十一）株主登記簿
（二十二）株主登記簿
（二十三）株主登記簿
（二十四）株主登記簿
（二十五）株主登記簿
（二十六）株主登記簿
（二十七）株主登記簿
（二十八）株主登記簿
（二十九）株主登記簿
（三十）株主登記簿

NOTICIAS DO BRASIL

Diretor Responsável SANEMI HARADA

Diretor Adminis. e Proprietário SEISAKU KUROISHI

Fundado em 1917

Redação, Administração e Oficina: Rua Heliotropos, 127 — Caixa Postal, 3148 — São Paulo

N.º 3.021

ANO XXXIII

SÃO PAULO, Quarta-Feira 2 DE AGOSTO DE 1950

Circula às Segundas, Quartas e Sextas

私の記録 (21)

橋詰如水



時報文藝

高き志と
小さな想いを生き
大きい歓喜を求めて

喜ふ子

幸と平和と正義と喜悦を
説いての春の上に昇る爲に

現を生き

苦に投じて樂しむ

重なる生命

ながら申し上げるのであつた。

常に戸荷を貢ふて

先頭を行くもの

荒野に叫ぶ

マニドーフー

大樂園南

土の娘が

香

足跡

リベイロン・ビーレス

あの娘百姓

荒子そだち

都會ざらいが

エエ胸にしつくり氣にいつ

運御迷惑をかけまして誠

にすみませんでした、どう

か今後ともよろしくお願ひ

と、三氏に對して感謝し

ながら申し上げるのであつた。

三氏も私の言ふを諒とせら

つたのです。まわ、先生、

許してやつてくんない

よ」

歯切れよくこうおつしゃ

るのだと。とんが迷惑をかけられました。まわ、先生、

許してやつてくんない

よ」

書記長某氏。尚次いで、

「先生、悪い子には嘆息せ

す。どんくちついて下さ

り、こんなことが二度と

あつたら大變ですかなら、

父兄の」も今後よく注意を

しまつて、一生懸命にやつて下さい

い、こんなことが二度と

あつたら大變ですかなら、